

(公社) 愛媛県鍼灸師会

各種行事への参加報告書

報告者氏名		他参加者	
内容	<input type="checkbox"/> 会議 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> イベント <input type="checkbox"/> その他 ()		
	※会議の場合は、 拘束時間数		※会議等の開催場所までの出 向に要した時間数 (往復)
開催日時	令和4年10月30日10時～16時		
名称	第33回公益社団法人全日本鍼灸学会中国四国支部学術集会		
主催	全日本鍼灸学会中国四国支部		
(あれば) 講師 (所属)			
1. 感想 (印象深かったことなど) 150字程度 今回、「メンタルヘルス鍼灸の現在と未来への展望 ―最近の話題と最新のエビデンスの紹介―」東京有明医療大学保健医療学部鍼灸学科助教授 三浦悠人先生の講座を中心に受講した。 西洋医学では精神疾患のほとんどは完治が難しいとされ、対症療法が中心である。そのような中、近年、うつ病患者の治療目標に変化が起こっており、これまでの臨床的寛解だけでなく“パーソナルリカバリー”、つまり、患者にとっての「自分自身の人生を生きている」感覚を取り戻すことが目標とされている。その妨げとなる重要な症状が不眠症であるという。確かに我々の鍼灸院に来られるうつ病を中心に精神疾患のほとんどの患者様は主訴は不眠であり、この不眠が少しでも楽になれば患者のパーソナルリカバリーに大きな貢献となることは間違えないだろう。精神病は病気の因果関係を明らかにすることが難しい。そのため西洋医学でも対症療法となっているのである。患者様が今訴えている症状を一つ一つ丁寧に寛解させていくこと、これこそが鍼灸治療の強みであり、鍼灸の役割りではないかと改めて感じました。			
2. 全国大会に対するご意見・ご要望などありましたらお書きください。			
3. 愛媛県鍼灸師会の学術研修会についてのアンケート ①今後取り上げてほしいテーマなどありましたらお書きください。 ②招聘したい講師などありましたら具体的にお書きください。			

※画像データなどあれば理事メール等にて送ってください。HP などでの報告資料として使わせていただきます。